



世界に目を向けるチャンス

校長 早川 修一

6月の初めの1週間、青年海外協力隊でベリーズに派遣される予定のPCインストラクターの方が、向山小で技術補完研修をしました。企業等の勤務経験は豊富ですが、学校での仕事経験は初めての方です。現地では小学校に配属されて指導するというこ
とで、日本の学校の授業の様子、パソコンを使った授業や教材作成等について、現場
で直に見たり手伝ったりすることで研修を深めました。ベリーズというと聞き慣れな
い方も多いかと思いますが、中米、メキシコの南側のカリブ海に面した国です。

向山小では、4年前からオリンピック・パラリンピック教育に取り組んでいて、6
月の学校公開で行った体力向上の取組の他に、オリンピック・パラリンピックの競技、
外国の生活や文化、日本の伝統文化、障害者スポーツや障害者について等、様々な学
習に取り組んでいます。

都内全ての学校で取り組んでいる「世界ともだちプロジェクト」学習では、東京都
から47グループの国の組み合わせが指定されています。それが練馬区にある98の
小中学校に割り振られていて、向山小の交流対象の国は、スペイン、ベリーズ、ボツ
ワナ共和国、ウガンダ共和国、アラブ首長国連邦の5つです。ベリーズ派遣予定の青
年海外協力隊員が本校に来たのは、派遣期間中、インターネットを通して現地の様子
を教えてもらったり、現地の子供たちの交流をしたりするためです。

6年生が総合的な学習の時間で「世界の国を調べよう」という学習をしている最中
だったこともあり、子供たちがベリーズという国に興味をもつ良いきっかけとなりま
した。外国語活動ALTのマリア先生は、フィリピンのご出身ですので、フィリピン
に興味をもった子もいたようです。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、職員室
の前には大きな世界地図の掛け図があり、交流対象5国の国旗も掲示されています。
6月はそういったこともあり、職員室の前に世界地図や国旗を見に来る子供の姿がた
くさん見られました。

先日からサッカーのワールドカップが始まり、子供たちの中でもずいぶん話題に
なっています。先週はコロンビアに勝ち、セネガルと引き分け、ポーランドには残念
ながら負けてしまいましたが、決勝トーナメント進出を決めました。先週の全校朝会
では、それぞれどこにある国か、世界地図で確かめてみたり、図書室の本で調べてみ
たりしてみましようという話をしました。さて、次はどの国との対戦になるでしょ
うか。子供たちの興味がさらに広がっていくことを期待しています。